

【緑地を楽しむ本】

『わたしのちいさないきものえん』

月刊かがくのとも 2021年4月号

大島加奈子作 福音館書店



今や、1億総デジタル化時代に入ったのではないだろうか。0歳児でもスマホをスクロールすることはできる。スマホの使用時間は10代では1日7時間ともいわれている。人間は赤ちゃんの時期から、本物に触れることが少なくなっているのだ。

この本はアナログの最たるもののような、生き物を育てるお話。身近なアオムシ、ダンゴムシ、カタツムリ、テントウムシ、オタマジャクシのお家の作り方、世話の仕方、生き物の変化の様子が書かれている。

小さな生き物だけれど、きちんと適切な餌をあげ、清潔にしてあげなければうまく育たない。見ているといろいろな変化が分かる。命や育つという事が知らないうちに理解できるだろう。

虫嫌いの子が多い今、生き物を育てる楽しさを是非知ってもらいたい。

(齋藤好子)